

2020年度 入学試験問題

日本史 世界史 政治・経済 数学

| | |
|-------|----------|
| 日本史 | 1～12ページ |
| 世界史 | 13～36ページ |
| 政治・経済 | 37～52ページ |
| 数学 | 55～56ページ |

注意

- (1) 日本史、世界史、政治・経済、数学から1科目を選択し解答すること。
- (2) 解答用紙は各科目別になっている。
選択しない科目の解答用紙は、試験開始30分後に回収する。
なお、回収後は科目の変更はできない。
- (3) 解答用紙には受験番号の記入欄がそれぞれ次のようにある。
日本史……………3か所
世界史……………3か所
政治・経済………3か所
数 学……………表面に2か所、裏面に1か所、計3か所
各箇所とも正確、明瞭に記入すること。
- (4) 解答用紙には氏名の記入欄が1か所ある。正確、明瞭に記入すること。
- (5) 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入すること。
- (6) 問題紙の余白は計算に使用してもよい。
- (7) 問題紙を解体して使用してはならない。
- (8) 試験開始後、問題紙に落丁・損傷がないか確認すること。
- (9) 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。

(記号 105)

(科目名 世界史)

[Ⅲ] P.32 上から5行め
〔誤〕

ボナパルト

↑

ボナパルト

〔誤〕

[Ⅲ] P.32 上から5行め

ボナパルト

↑

ボナパルト

(記号 105)

(科目名 世界史)

105 105 105 105 105 105 105 105 105 105

日 本 史

〔 I 〕 次の文章 (1) (2) を読み、空欄 (ア) ～ (シ) に入る最も適切な語句を解答欄 I - A に、(ウ) を除いて漢字で記せ。また文章 (1) の下線部または空欄に対応する【設問 a】～【設問 f】、文章 (2) の【設問】に答え、その番号を解答欄 I - B に記入せよ。(60点)

(1) わが国の古代絵画の遺例は極めて少ない。飛鳥時代では、法隆寺に伝来する (ア) の須弥座の左右に描かれた捨身飼虎図・施身聞偈図は貴重である。また (イ) 所蔵の聖徳太子が死後に住まわれている世界を刺繍で表した天寿国繡帳は、渡来系の画師が下図を手がけたものである。

白鳳時代では、法隆寺金堂壁画が有名である。金堂内部の12の壁面に4種の浄土と8体の菩薩像を描いたもので、初唐風のしなやかで張りのある様式がみられる。この他、地方の白鳳寺院においては、平成3年からの発掘調査で壁画断片が見つかった鳥取県米子市にある (b) も忘れられない。

これらの仏教壁画に加えて重要なのは、昭和47年に発掘調査によって発見され、大きな話題となった高松塚古墳の彩色壁画である。当時は九州地方に多い装飾古墳から呪術的な絵が見いだされていたのみで、まだ中国大陸や朝鮮半島にも比肩する高い画技を示した壁画をもつ古墳は発見されていなかったのである。切石で組み立てた石室の内側に漆喰を塗り、天井には星宿図、四方の壁面には四神 (南側は盗掘による破壊のため未確認) の青龍・白虎・ (d) が、また東西壁には当時の風俗をした四人一組の男女の群像などが相対して描かれていた。その後発見された (ウ) の壁画では、やはり石室内に四神と十二支、天文図などが描かれていた。ここでは特に高松塚古墳で滅失している南方を守護する (e) が良好な状態で残っていたことが特筆される。両古墳の壁画は日本古代絵画史を考えるうえで不可欠な作例となった。

天平時代になっても現在まで伝わる絵画の量は少ない。この時代の最盛期には東大寺とその本尊である大仏が造立され、そのため造東大寺司に多くの

画師・画工が集められたことが知られている。絵画の遺例としては、大仏の蓮弁線刻画なども含まれようが、殊に正倉院宝物中には多様な形で伝わっている。宝物中の単独作品では、屏風に描かれ、中央アジアから中国の墳墓壁画に先例がある（エ）を題材とした鳥毛立女図、麻布に描かれた白描の菩薩などがある。また宝物中の箱や楽器そして遊戯具などに豊かな彩色文様とともに絵画が施されている例がある。この他、薬師寺には盛唐風の豊満な人物表現がみられる（オ）、醍醐寺・東京芸術大学他に蔵されわが国の絵巻の原点ともいべき（カ）がある。後者は釈迦の伝記を説いた経文を下半分に記し、上半分に対応する挿絵を描いている。また綴織という高度な技法を用いて作られた綴織当麻曼荼羅は、中国で流行した浄土教絵画の高い水準をよく伝えている。

【設問 a】下線部 a 法隆寺の現在に伝わる伽藍配置として適切なものを下記から選び、番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 金堂の前に塔
2. 中央に金堂、南に東塔・西塔
3. 西に金堂、東に五重塔
4. 西に五重塔、東に金堂

【設問 b】空欄（ b ）に入る適切な語句を下記から選び、番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 若草伽藍跡
2. 法円坂遺跡
3. 上淀廃寺跡
4. 吉備池廃寺跡

【設問 c】下線部 c の文に関連して、九州地方の装飾古墳として適切なものを下記から選び、番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 稻荷山古墳
2. 江田船山古墳
3. 竹原古墳
4. 造山古墳

【設問 d・e】空欄（ d ）（ e ）に入る適切な語句をそれぞれ下記から選んで、番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 朱鳥
2. 朱雀
3. 黒龍
4. 金象
5. 玄武
6. 玄室
7. 玄兔

【設問 f】下線部 f 薬師寺の中心の教学は、道昭が唐からもたらし、義淵・玄昉らが出て、奈良時代に大いに栄えた。この教学として適切なものを下記より選び、番号を解答欄 I－B に記入せよ。

1. 法相 2. 三論 3. 華嚴 4. 律

(2) 平安時代の10世紀後半以降になると、密教の進展と浄土教の隆盛に加えて摂関政治や院政といった政治的展開の中で、平安時代を特徴づける多くの寺院が造られた。藤原道長が晩年に出家して建立した（キ）、白河天皇が造営した（g）などがその例である。これらの建築は今に伝わらないが、天喜元年（1053）に藤原頼通が建立した（ク）鳳凰堂は、極楽浄土を希求した中から、繊細で優美な建築が生み出されたことを示す貴重な例である。この時代には造寺造仏の数量を競う風潮から、九体阿弥陀堂や千体仏を安置する仏堂が多く造られた。前者の例として、京都・浄瑠璃寺本堂は唯一の現存例であり、後者の例としては京都・妙法院の（ケ）とも呼ばれる蓮華王院本堂があげられる。ただ現在の蓮華王院本堂は鎌倉時代の再建である。また平安時代後期には浄土信仰の隆盛に伴い、阿弥陀堂の造立が全国各地に広がる。岩手・中尊寺金色堂、福島・（コ）阿弥陀堂、大分・富貴寺大堂などが現存例である。京都の南の郊外では11世紀に日野資業が建立し同時期の阿弥陀如来坐像を祀る（サ）阿弥陀堂があげられるが、壁画の残る現在の建物は鎌倉時代に入って建立されたものである。

鎌倉時代になると、新たに中国から建築技術が輸入された。よく知られているのは、治承4年（1180）に焼失した東大寺を再建するために、大勧進となった重源が採用した大仏様である。正治元年（1199）に再建された奈良・東大寺南大門や兵庫・浄土寺浄土堂が代表例である。しかし重源没後の13世紀以降に造られた寺社建築のほとんどは、大仏様の特徴を備えず、従来の様式である（h）に近かったとされている。滋賀・石山寺多宝塔、奈良・興福寺北円堂、京都・海住山寺五重塔、京都・大報恩寺本堂などである。ところがやがて、南都およびその近辺を中心に、（h）に大仏様の一部の特徴が限定的に採用された建築が造られた。奈良・唐招提寺鼓楼、奈良・元興寺極楽坊本堂、京都・光明寺仁王門がその早い例である。

鎌倉時代には禅宗様も導入された。初期には栄西などの入宋僧によって伝えられたが、寛元4年（1246）来日の（シ）を迎えて、北条時頼が創建した神奈川・（i）を境に、建築だけでなく寺内の規範が全く宋風を模

したものとなる。ただ現存する古い禅宗様の建物は、14世紀以降のもので、山口・（ j ）仏殿や神奈川・円覚寺舍利殿が代表例であるが、禅宗様は全国に普及した。鎌倉時代の後期から南北朝にかけて、基調となる（ h ）に禅宗様と大仏様が融合した様式である（ k ）が生まれた。広島・明王院本堂、大阪・（ l ）金堂、兵庫・鶴林寺本堂がその例である。

【設問】上記の文章中の空欄（ g ）から空欄（ l ）に当てはまる適切な語句を下記の語群から選べ。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 観心寺 | 2. 天龍寺 | 3. 万寿寺 | 4. 東福寺 |
| 5. 建仁寺 | 6. 相国寺 | 7. 建長寺 | 8. 国分寺 |
| 9. 安国寺 | 10. 功山寺 | 11. 尊勝寺 | 12. 最勝寺 |
| 13. 法性寺 | 14. 法勝寺 | 15. 今 様 | 16. 和 様 |
| 17. 唐 様 | 18. 天竺様 | 19. 定朝様 | 20. 折衷様 |

〔Ⅱ〕 次の文章（1）（2）を読んで、下記の設問ア～スについて答えよ。（45点）

（1）（ア）は、関ヶ原の戦いの翌年、（イ）と（ウ）を設けて、小判（1両）や秤量貨幣を発行して、貨幣の発行や流通などについての制度化に努めた。銭貨についても、全国共通の（エ）が大量に鑄造され、それまでの（オ）のような中国の貨幣は使われなくなっていった。貨幣の鑄造権は幕府が独占したが、17世紀の後半になると、各藩において領内限定で流通させることができる（カ）が発行された。

【設問ア】空欄（ア）には、江戸で幕府を開いた人物が入る。空欄（ア）に入るもっとも適切な人物名を漢字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問イ】空欄（イ）には、とくに小判の鑄造・鑑定・検印を行う鑄造場所あるいは組織の名称が入る。この組織は、代々、後藤庄三郎によって管轄されていた。空欄（イ）に入るもっとも適切な語句を漢字2字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問ウ】空欄（ウ）には、鑄造、極印打および包封を行うとともに、堺の

町人、湯浅常是の子孫・大黒家を中心に、原料の買入れや品位査定も行った組織の名称が入る。この組織は、伏見にはじまり、江戸・京都や長崎などにも設置されたが、後には江戸に統一された。空欄（ウ）に入るもっとも適切な語句を漢字2字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問エ】空欄（エ）には、江戸初期、日本で発行され、江戸時代を通じて広く流通した銭貨の名称が入る。（エ）によってこれまでの欠銭などの悪貨が整理された。しかし、後には銅不足のために真鍮や鉄でも作られるようになった。もっともふさわしい銭貨の名前を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 富本銭
2. 乾元大宝
3. 寛永通宝
4. 和同開珎

【設問オ】空欄（オ）には、これまで中国の明朝において官鑄され交易などを通じて大量に輸入された銭貨の名前が入る。（オ）は、明の第3代皇帝の治下で官鑄され、輸入銭ながら江戸初期までもっとも多く使用され流通した。貿易決済貨幣としても利用され、最近、アフリカでも出土したという報告がなされている。また、織田信長は、この意匠を織田家の旗印として用いていた。もっともふさわしい銭貨の名前を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 開元通宝
2. 洪武通宝
3. 宣徳通宝
4. 永楽通宝

【設問カ】空欄（カ）は、領内で発行・通用した紙幣の性格をもっているため乱発される傾向にあった。空欄（カ）に入るもっとも適切な語句を漢字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

(2) 豊臣政権による全国統一の過程で整備がはじまり、これを引き継いだ江戸幕府によって、三都を中心に各地の城下町をつなぐ全国的な街道が完成した。とくに、(①) ・ (②) ・ 甲州道中 ・ 日光道中 ・ (③) の五街道は、江戸を起点とする重要な幹線道路で、幕府の直轄下におかれ、17世紀半ばからは（ク）によって管理された。陸上・水上交通が整備されると、三都や城下町において、各地からの商品の受託や仕入れを独占する問屋が商業・流通の中心を占めた。また全国的な海上交通網として、江戸の商人（ケ）によって（コ－①）海運・（コ－②）海運が整備される

ようになった。

三都の1つである（サ）は「天下の台所」といわれ、西日本や全国の物資の集散地として栄えた大商業都市であった。諸藩は（シ）屋敷をこの都市において、領内の年貢米や特産物を掛屋ともよばれる商人を通じて販売し、貨幣の獲得に努めた。また、全国^スの商人がこの都市などに送る商品である納屋物も活発に取引されて、江戸をはじめ全国に出荷された。

【設問キ】下線部キの空欄（①）・（②）および（③）は、下記の地図の①②および③に対応している。空欄（①）・（②）および（③）に入るもっとも適切な街道名を漢字で解答欄Ⅱ-Aに記せ。



【設問ク】空欄（ク）に入るもっとも適切な語句を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ-Bに記入せよ。

1. 遠国奉行
2. 勘定奉行
3. 道中奉行
4. 作事奉行

【設問ケ】空欄（ケ）には、1618年に伊勢に生まれ、江戸に出て、明暦の大火で材木を商って富を得たともいわれ、その後海運の整備に尽力した人物が入る。空欄（ケ）に入るもっとも適切な人物名を下記から選び、その番号を解答欄Ⅱ-Bに記入せよ。

1. 河村瑞賢
2. 淀屋辰五郎

3. 奈良屋茂左衛門

4. 紀伊国屋文左衛門

【設問コ】空欄（ コー① ）は出羽酒田を起点に下関を經由して上方に至る航路であり、空欄（ コー② ）は東北の日本海沿岸より津軽海峡を經由して江戸に至る航路である。空欄（ コー① ）・（ コー② ）に入るもっとも適切な航路を下記のそれぞれから選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

1. 北廻り 2. 西廻り 3. 南廻り 4. 東廻り

【設問サ】空欄（ サ ）に入るもっとも適切な語句を漢字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問シ】空欄（ シ ）に入るもっとも適切な語句を漢字で解答欄Ⅱ－Aに記せ。

【設問ス】江戸中期以降の商品経済の進展に伴い、下線部の「特産物」に目を付けた諸藩は、国産振興と藩財政補強のために、特産物の生産や独占を目指すようになった。下記の産品ス①～ス③は、ある藩の特産品あるいは藩による専売品として著名なものである。産品ス①～ス③を生み出した藩としてふさわしいものを下記のそれぞれの語群から選び、その番号を解答欄Ⅱ－Bに記入せよ。

[ス①] 漆、茶、木材、紙、鯉、鯨

1. 彦根 2. 津山 3. 高知 4. 宇都宮

[ス②] 黒砂糖、樟腦、たばこ

1. 南部 2. 米沢 3. 鹿児島 4. 大垣

[ス③] 昆布、にしん、鮭

1. 松前 2. 津和野 3. 高崎 4. 前橋

〔Ⅲ〕 近代日本の議会や政党について述べた（1）～（3）の文章を読み、文中の下線部および空欄 a～r に関する以下の各設問に答えよ。 （45点）

（1） 1881年10月に国会開設の勅諭で公約した通り、1890年に日本で最初の議会が開かれた。議会は、自由民権運動の流れをくむ立憲自由党ら民党が過半数

を占めた。第2回帝国議会では、「民力休養・政費節減」を唱える民党が、帝国憲法第64条にもとづき、政府の予算案を否決した。それに対して軍備拡張を急ぐ政府は、^{a-①} 国務大臣の輔弼事項を定めた帝国憲法第55条に基づいて、天皇大権に属する衆議院解散（帝国憲法第7条）を行い、総選挙では政府支持者を増やそうと激しい選挙干渉を行った。このように両者の衝突はお互いに憲法が定めた権限を行使して起こった。その後政府は、天皇の詔書によって、あるいは民党第一党の自由党と接近して対立を克服しようとしたが、結果的に政府と衆議院の対立は、日清戦争の開戦によって解消された。

憲法の安定した運用が危ぶまれた初期議会であったが、日清戦争勝利後、政府と政党の関係は大きく変化した。自由党は政府を公然と支持し、（ c ）を内相として入閣させて軍備拡張案を承認した。進歩党も（ d ）を外相として入閣させ、政府の軍拡を支持した。政府も議会の支持がなくては運営できないことから、議会に対する超然的態度を改めて、提携の道を模索した。1898年に自由・進歩両党が合同して（ e ）党を結成し、衆議院で絶対多数を獲得すると、（ e ）党は政府との対決姿勢を強め、はじめての政党内閣の成立を実現させた。しかし、旧自由・進歩党間の対立を克服できず、わずか4カ月で瓦解した。他方で、帝国憲法起草に携わった伊藤博文は、日清戦争前から模索していた政党結成を呼びかけ、1900年に官僚や（ e ）党（旧自由党）の党員を結集して^f 立憲政友会を創立し自ら初代総裁となった。このように議会を重視する伊藤に対して、政党の権力伸長を嫌う山県有朋は、軍部、官僚、貴族院などに自らの影響力を強めていった。

【設問 a】 下線部 a-①、a-②の内閣として正しい組み合わせのものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ-Bに記入せよ。

1. a-①—第1次山県有朋内閣 a-②—第2次伊藤博文内閣
2. a-①—第1次山県有朋内閣 a-②—第1次松方正義内閣
3. a-①—第1次松方正義内閣 a-②—第2次伊藤博文内閣
4. a-①—第1次松方正義内閣 a-②—第1次伊藤博文内閣

【設問 b】 日清戦争前後に起こった出来事を古いものから年代順に正しく配列したものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ-Bに記入せよ。

1. 日英通商航海条約調印→豊島沖海戦→対清国宣戦布告→三国干涉
2. 豊島沖海戦→日英通商航海条約調印→対清国宣戦布告→三国干涉
3. 対清国宣戦布告→豊島沖海戦→三国干涉→日英通商航海条約調印
4. 日英通商航海条約調印→対清国宣戦布告→豊島沖海戦→三国干涉

【設問 c】空欄（ c ）に当てはまる人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 d】空欄（ d ）に当てはまる人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 e】空欄（ e ）に当てはまる政党名を漢字 2 字で解答欄Ⅲ－Aに記せ。

【設問 f】立憲政友会に所属したことの無い人物を次の 1～4 のうちから 1 つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 西園寺公望
2. 高橋是清
3. 尾崎行雄
4. 若槻礼次郎

(2) 日露戦争後はいっそう政党の権力が伸長していく。日露戦争の講和条件に不満を持つ民衆が暴動を起こした（ g ）事件は、国民の政治的関心の高まりを示していた。政党はそうした世論を背景に、政権獲得を目指した。そして、山県らの支持を得た第 3 次桂太郎内閣が宮中の権力をも利用して政権維持を図ろうとしていると見た立憲政友会や立憲国民党、ジャーナリストが、都市民衆を動かして「閥族打破・憲政擁護」を掲げる第一次護憲運動をおこした。1913年 2 月、民衆は議会を包囲して桂内閣をわずか 50 日余りで総辞職に追い込んだ。この事件は大正政変と呼ばれる。

山県ら元老は、後継首班の天皇への推薦を通して立憲政友会ら政党に抵抗したが、1918年に全国 38 市・153 町・177 村で起こった米騒動をきっかけに、立憲政友会総裁の原敬を首相に推薦し、ここに本格的政党内閣が成立するに至った。原は新聞記者として培った政治外交の見識、外交官として身につけた国際感覚、衆議院議員として政友会に入党して以来の政治基盤と経験などを武器に、国際協調外交を基軸とした対外政策、普通選挙制導入に向けた選挙制度の漸進的改革などを実現していった。原内閣以降、普通選挙実現を求める民衆運動が高まりを見せるなか、立憲政友会、憲政会、革新倶楽部の護憲三派は第二次護憲運動をおこした。護憲三派は総選挙で圧勝し、第 1 党の憲政会の総裁（ j ）が三党連立内閣を組織した。こうして原の暗殺から 3 年 4 カ月ほど後に普通選挙法が成立した。

【設問 g】空欄（ g ）に当てはまる事件名を解答欄Ⅲ－Aに記せ。

【設問 h】明治～昭和前期において元老でなかった人物を次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 山本権兵衛
2. 井上馨
3. 大山巖
4. 西郷従道

【設問 i】原敬内閣の政策でないものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. パリ講和会議への参加
2. 朝鮮・台湾総督に文官の就任を認める
3. 不戦条約の調印
4. 国際連盟への加盟

【設問 j】空欄（ j ）に当てはまる人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 k】この内閣が成立させたもので、国体の変革、私有財産の否認を目的とする政治結社を禁じた法案を漢字5字で解答欄Ⅲ－Aに記せ。

【設問 l】大正政変からこの連立内閣までの時期に該当しないものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 友愛会の成立
2. 新婦人協会発足
3. 虎の門事件
4. 全国水平社結成

(3) 1928年に普通選挙が実施された。有権者数が普通選挙法施行前の約（ m ）倍になったこともあり、新たな支持者獲得を目指して、二大政党となった立憲政友会と立憲民政党は、互いの政治スキャンダルを執拗に攻撃するなどして対立を激化させた。1930年、浜口雄幸首相率いる立憲民政党内閣がイギリス・アメリカなどと結んだロンドン海軍軍縮条約は、海軍軍令部の反対を押し切って海軍の兵力量を決定したもので、統帥権の干犯にあたるとして野党政友会は政府を激しく批判し、右翼がそれに同調した。その結果、軍部の台頭や右翼運動の高まりを招き、政党の権力をかえって傷つけることとなった。

二大政党は、中国で高まる国権回復要求の民族運動に対して有効な解決策を持たなかった。それに対して、関東軍は、日露戦争以来発展させてきた満蒙権益を守ることを口実に武力行使に打って出た（満州事変）。世論・マス

コミが熱狂的に軍の行動を支持するなかで、立憲民政党も立憲政友会も戦線の拡大を止めることが出来なかった。ただ一人の元老となっていた西園寺公望は、政党の復権を期待しつつ海軍穏健派の斎藤実、岡田啓介らに組閣させたが、二大政党が政権に返り咲くことは二度となかった。それどころか、立憲政友会の一部は政党政治を支える理論的支柱であった天皇機関説を反国体的であると攻撃した陸軍や右翼に加担して、政党の凋落に勢いを与えてしまった。

1937年に全面戦争に発展した日中戦争に対しても、政党は有効な收拾策を持たなかった。議会で強い反対が出ないまま（ p ）法が通過した結果、政府は議会の承認なしに、戦争遂行に必要な物資や労働力を動員する権限を付与された。1940年、近衛文麿は自らが先頭に立ち、強力な大衆組織を基盤とする大政党を結成して、^q全国民の戦争協力への動員を目指した。立憲政友会、立憲民政党、社会大衆党などの諸政党は自ら解党し、この新体制運動への参加を表明した。しかし、新体制運動の結果発会した大政翼賛会は政党組織ではなく、官製の上意下達機関でしかなかった。こうして政党政治の復活^rは、日本の敗戦を待たなければならなかった。

【設問 m】空欄（ m ）に当てはまる数字を算用数字 1 文字で解答欄Ⅲ－A に記せ。

【設問 n】満州事変前後に起こった出来事を古いものから年代順に正しく配列したものを次の 1～4 のうちから 1 つ選び解答欄Ⅲ－B に記入せよ。

1. 国際連盟からの脱退通告→日満議定書調印→重要産業統制法公布→金輸出再禁止
2. 日満議定書調印→金輸出再禁止→国際連盟からの脱退通告→重要産業統制法公布
3. 重要産業統制法公布→金輸出再禁止→日満議定書調印→国際連盟からの脱退通告
4. 金輸出再禁止→日満議定書調印→国際連盟からの脱退通告→重要産業統制法公布

【設問 o】天皇機関説を唱えたことで著書が発禁処分となり、貴族院議員を辞職

した人物名を解答欄Ⅲ－Aに漢字で記せ。

【設問 p】空欄（ p ）に当てはまる語句を漢字5字で解答欄Ⅲ－Aに記せ。

【設問 q】近衛文麿が組閣した第1次と第2次内閣が実施した政策として正しいものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 日独伊三国同盟の調印
2. 価格等統制令の公布
3. 帝国国防方針の改定
4. 翼賛選挙の実施

【設問 r】1946年4月に実施された戦後初の衆議院総選挙で議席を獲得した政党として誤っているものを次の1～4のうちから1つ選び解答欄Ⅲ－Bに記入せよ。

1. 日本自由党
2. 日本協同党
3. 日本社会党
4. 民主党

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 1～6 に答えなさい。(50点)

3世紀前半から7世紀半ばにかけて、イランを中心に西はイラクから東は中央アジア西部までを支配したササン朝は、(a) 教を国教としつつも他宗教に寛容であった。そのため、領内の西方にはユダヤ教徒やキリスト教徒も多く暮らし、領内の東方では(b) 教も信仰された。これらの宗教を融合して3世紀に出現した(c) 教は、国内では異端とされたが、中央アジアに広まり、ローマ帝国や唐にも伝えられた。

7世紀半ばにアラビア半島を出て各地を征服したアラブ人ムスリム(イスラーム教徒)たちは、ササン朝を破ってその領土のほとんどを征服した。彼らも他宗教に対して比較的寛容で、征服した地域の人々に、(d) と呼ばれる人頭税と(e) と呼ばれる土地税(地租)の支払いを条件に従来の信仰の保持を認めた。その一方で、征服された人々の間でもイスラーム教に改宗する者が現れた。しかし、アラブ人ムスリムが征服者として免税などの特権を持っていたのに対して、征服された非アラブ人の改宗者にはそうした特権は与えられなかった。

やがて、8世紀半ばに成立したアッバース朝のもとでアラブ人の特権が廃止され、民族の別なくムスリム平等の原則が打ち出されると、征服された非アラブ人のイスラーム教への改宗が大きく進展した。ムスリムとなったイラン系の人々は、官僚としてアッバース朝の統治を支えるとともに、学者としても活躍しイスラーム文化の発展に貢献した。しかし、ムスリム共通の文章語(書き言葉)としてアラビア語が発達・普及したため、イラン系の人々も、ものを書く際にはアラビア語を用いるようになった。

9世紀に入るとアッバース朝の支配はしだいに弱まり、各地に地方イスラーム王朝が分立するようになった。9世紀後半から10世紀末にかけて中央アジア西部からイラン北東部を支配した(f) 朝は、イラン系の文化を奨励し、その王朝の支配地域を中心に、アラビア語の語彙を大量に取り込みアラビア文字で書か

れるイラン系の文章語としてペルシア語が発達した。^(イ)

13世紀になると、モンゴルが、西アジアから中国に至る広大な領域を征服した。モンゴルがイランを中心に築いた（ g ）国や、中央アジアに築いた国家はやがてイスラーム化し、ペルシア語でものを書くイラン系ムスリムの官僚・学者を保護・登用した。そのため、モンゴルの支配のもとでイラン＝イスラーム文化が成熟し、^(ウ)ペルシア語はイランから中央アジアにかけての広範な地域で主要な文章語となった。中央アジアの（ h ）朝の末裔が、北インドに進出して築いたムガル帝国^(D)においても、ペルシア語が公用語とされ、ペルシア語と北インドで話されていた言語が融合して、アラビア文字で書かれる（ i ）語が成立した。

他方イランにおいては、15世紀半ばに（ h ）朝の支配が弱体化し、政治的に混乱した。そのなかで、イスラーム神秘主義教団^(E)が遊牧民の戦士たちを率いて台頭し、16世紀初頭に（ j ）朝を開いた。イランを平定したこの王朝は、アッバース1世（在位1587～1629年）の時代に最盛期を迎えた。^(F)また、この王朝は、国内統合のためにシーア派を国教とした。このことが、世界のムスリムの中では少数派のシーア派が、現在のイランにおいては多数派となっている歴史的要因の1つである。^(G)

設問1 空欄 (a) ~ (j) に入る最も適切な語句を次の語群より選び、その番号を解答欄 I - A に記入しなさい。() 内に同じアルファベットがあるところには、同じ語句が入る。

- | | | |
|--------------|----------------|------------------|
| 1. アイユープ | 2. アター | 3. イクター |
| 4. イル=ハン | 5. ウルドゥー | 6. ウンマ |
| 7. カージャール | 8. ガズナ | 9. キプチャク=ハン |
| 10. コーカンド=ハン | 11. ゴール | 12. サファヴィー |
| 13. サーマーン | 14. サンスクリット | 15. シク |
| 16. ジズヤ | 17. ジャイナ | 18. ジンミー |
| 19. スワヒリ | 20. ゴロアスター | 21. ティムール |
| 22. パフレヴィー | 23. ハラージュ | 24. バラモン |
| 25. ヒヴァ=ハン | 26. ファーティマ | 27. ブワイフ |
| 28. マニ | 29. マムルーク | 30. マラータ (マラーター) |
| 31. マレー | 32. ミトラ (ミトラス) | 33. ムラービト |
| 34. ムワッヒド | 35. ラージプート | 36. ラマ |
| 37. レザー=ハーン | 38. 儒 | 39. 道 |
| 40. 仏 | | |

設問2 下線部(A)のササン朝に関する以下の4つの文のうち、正しいものを1つ選び、その番号を解答欄 I - B に記入しなさい。

1. アルダシール (アルデシール) 1世が、アケメネス朝を倒しておこした。
2. 銀製品などの美術工芸が発達し、その技法や様式は中国や日本にまで伝わった。
3. ホスロー 1世は、ローマ皇帝を捕虜とした。
4. ササン朝が支配する地域の交易では金貨が広く用いられた。

設問 3 下線部(B)について、7世紀半ばから8世紀前半にかけてのアラブ人ムスリムによる征服活動は「大征服」と呼ばれる。この「大征服」で征服された地域に該当しない地域を次の選択肢1～4の中から1つ選び、その番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. イベリア半島 | 2. エジプト |
| 3. シリア | 4. バルカン半島 |

設問 4 下線部(C)について、学者の名前 a～d と、学者の業績について述べた2つの文(X・Y)の組み合わせとして、正しいものを次の選択肢1～4から1つ選び、その番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

- | | |
|------------|--------------|
| a イブン・シーナー | b イブン・バットウータ |
| c ガザーリー | d タバリー |

X アリストテレスの著作をもとにイスラーム哲学を体系化し、医学の分野でも顕著な業績を残した。

Y 遊牧民と定住民の関係を中心に歴史の法則を考察し、『世界史序説(歴史序説)』を著した。

- | | |
|--------|--------|
| 1. a-X | 2. b-Y |
| 3. c-X | 4. d-Y |

設問 5 下線部(D)(E)(F)に関して、以下にそれぞれXとYの2つの文をあげる。それらの文の両方が正しい場合は数字の1を、Xのみが正しい場合には数字の2を、Yのみが正しい場合は数字の3を、両方とも誤っている場合には数字の4を、解答欄I-Cに記入しなさい。

下線部(D) ムガル帝国について

X バーブルが、ロディー(ローディー)朝を破って建国した。

Y アクバルは、ヒンドゥー教徒に課せられていた人頭税を廃止した。

下線部(E) イスラーム神秘主義について

X イスラーム神秘主義の修行者は、スーフィーと呼ばれる。

Y 18世紀におこったワッハーブ派(運動)は、神秘主義教団の1つである。

下線部(F) アッバース1世の治世について

X ペルシア湾に進出していたフランス人をホルムズ島から追放した。

Y 都が置かれたテヘランは「世界の半分」と称えられた。

設問6 下線部(ア)(イ)(ウ)(エ)について、以下の問いに対する答えを解答欄I-Dにそれぞれ記入しなさい。

下線部(ア) アラブ人以外の征服された諸民族出身で、イスラーム教に改宗した人々は何と呼ばれたか、その名称をカタカナで書きなさい。

下線部(イ) 9世紀から10世紀にかけてのペルシア語の発達を受けて、11世紀に入るとペルシア語で詩や散文を書く文人たちが活躍するようになった。そのなかで、傑作として名高い『ルバイヤート(四行詩集)』の著者として世界的に有名な人物の名前をカタカナで書きなさい。

下線部(ウ) イランを支配したモンゴルの君主に宰相として仕え、モンゴルを中心とした世界史である『集史』をペルシア語で著した人物の名前をカタカナで書きなさい。

下線部(エ) 1979年にイラン革命によって成立したイラン=イスラーム共和国において、初代最高指導者となったシーア派宗教指導者の名前をカタカナで書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～3に答えなさい。

(50点)

近世ヨーロッパ形成の要因には、15世紀から16世紀にかけてのルネサンス・
(a) ・宗教改革⁽¹⁾があげられる。これら三つの動きによってヨーロッパでは
政治・経済・社会・宗教・文化など、多くの面で近代へつながる動きが生じた。

それらの要因のひとつ、フランス語で「再生」を意味する「ルネサンス」
は、14世紀イタリアに始まり、15世紀以降西ヨーロッパ各地に広まった文化革新
である。それは、中世の文化を継承しつつもキリスト教会中心の価値観から人間
中心の価値観への転換を模索したことを特徴とする。個人の尊厳を重んじる新た
な精神は、(b) を先駆けとする教養人⁽²⁾が古典古代を模範と仰ぎ、(c)
帝国やイスラーム文化圏を介して伝えられた、古代のギリシアやローマで書かれ
た古典を研究したことをきっかけに、文学だけではなく思想・芸術・科学など、
人間生活に関わる多くの分野へ広がっていった。

ルネサンス文化が西ヨーロッパ各地に先駆けてイタリアに始まった理由として、
古代ローマの遺跡や遺産が身近であったことや、毛織物産業・金融業・東方貿易⁽³⁾
による都市経済を背景に、巨万の富を築いた大商人たちがローマ教皇や諸侯と
ともに文化芸術の推進役となったことが挙げられる。フィレンツェでは、早くも14
世紀⁽⁴⁾にダンテがトスカナ地方の口語で書いた壮大な叙事詩『神曲』や(d)
の短編集『デカメロン』に人間精神の解放が認められる。また画家(e)は
写実的な奥行きをもつ空間と立体的な人間の描写によって絵画に新風を吹き込ん
だ。

15世紀に入るとフィレンツェでは金融業で隆盛をきわめ、後に(f)など
の教皇を出したメディチ家が、莫大な資産を背景に文化芸術の後援をした。この
時代に活躍した芸術家として、フィレンツェのサンタ＝マリア大聖堂のドームを
設計した建築家(g)や、「ヴィーナスの誕生」を描いたボッティチェリが
あげられる。15世紀末になると、教皇が学芸の最大の保護者となり、ルネサンス
の中心はローマに移っていく。16世紀初頭を代表する芸術家として、「ダヴィデ
像」や「最後の審判」を制作した(h)、優美な聖母子像を描いたラファエ
ロ、「最後の晩餐」を描き、自然科学や応用技術にも秀でた(i)らが知ら

れる。

この間、アルプスの北では、ネーデルラントの南部に位置し、15世紀前半に商業と毛織物産業で栄えたフランドル地方の(j)兄弟が油絵の技法により精密な描写と象徴性を特色とする「ヘント(ガン)の祭壇画」を描き、フランドル派と呼ばれる写実的な画派を先導した。

設問1 文中の(a)～(j)に入る最も適切な語句を次の語群から一つずつ選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|------------------|----------------|-------------|
| 1. アベラール | 2. インノケンティウス3世 | |
| 3. ウルバヌス2世 | 4. エッフェル | 5. オスマン |
| 6. 十字軍 | 7. ジョット | 8. 神聖ローマ |
| 9. チョーサー | 10. 地理上の発見 | 11. デューラー |
| 12. ドナテルロ | 13. ドラクロワ | 14. 農奴解放 |
| 15. ピカソ | 16. ビザンツ | 17. ファン・アイク |
| 18. ブラマンテ | 19. ブリュエゲル | 20. ブルネレスキ |
| 21. ペトラルカ | 22. ボッカチオ | 23. ホルバイン |
| 24. マキアヴェリ | 25. ミケランジェロ | 26. ラブレール |
| 27. ルーベンス | 28. レオ10世 | |
| 29. レオナルド＝ダ＝ヴィンチ | | 30. ロダン |

設問2 次の文章を読み、(あ)～(お)に入る最も適切な語句をそれぞれの語群から選び、番号を解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。

ルネサンスの時代における開発や発明でその後の文化や社会の発展に大きく寄与したのは、(あ)印刷術・羅針盤・火薬である。(あ)印刷術は、それまでの手書きの写本と比べて、正確かつ大量に文章を複製することを可能にした。そのことによって、ルターの(い)をはじめとする新しい思想がヨーロッパ各地に伝播した。また、羅針盤は大型の船舶と正確な海図とともに、新しい航路の発見に貢献した。火薬を用いた火砲は、それまでの戦術を変化させて騎士の没落を早めた。

しかし、ルネサンスにおける先進的な科学思想は、キリスト教会との対立も招いた。1530年頃にはポーランドのコペルニクスがヘレニズム時代の(う)の説を数学的に裏付けていた。しかし、ローマ教会は、聖書に記された天地創造に基づき(え)を支持していた。そのため、コペルニクスに同調したイタリアのジョルダノー＝ブルーノは、異端審問にかけられて火刑に処せられた。また、同じくイタリアの(お)は、天文学や力学で業績をあげ、コペルニクスの正しさを主張したが、宗教裁判にかけられるなど迫害された。コペルニクスの学説が支持されるようになるのは、ニュートン天体力学の確立以降のことであった。

【語群】

- | | | | |
|-----|-------------|------------|------------|
| (あ) | 1. 活版 | 2. 木版 | 3. 石版 |
| (い) | 1. 聖書主義 | 2. 長老主義 | 3. 福音主義 |
| (う) | 1. アリストアルコス | 2. エウクレイデス | 3. プトレマイオス |
| (え) | 1. 地動説 | 2. 天動説 | 3. 予定説 |
| (お) | 1. ガリレイ | 2. ケプラー | 3. スピノザ |

設問3 下線部(1)～(5)に関する、以下の問いに対する答えを解答欄Ⅱ－Cに記入
しなさい。

- (1) ルターが「九十五箇条の論題」を発表した町の名は何か。
- (2) これらの教養人をとくに何主義者と呼ぶか。
- (3) 東方貿易において、東地中海地域から送られてきた物品を北西ヨーロッパに独占的に運搬した、アドリア海に面する都市はどこか。
- (4) この時代において、一般に学術に用いられていた言語は何か。
- (5) フランドル地方は現在の複数の国家にまたがっているが、そのうち、ヘント（ガン）やブルッヘ（ブリュージュ）などの主要な都市は、現在のどの国に属しているか。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～21に答えなさい。

(50点)

一九世紀は、関税の分野でも甚だ変化に富む時代であった。

(a) 他国に先駆けて産業革命を経過し、資本主義的な生産の国民体系を確立した英国は、「(b) 世界の工場」として世界市場に君臨し、その工業力を背景に(c) 自由貿易主義を標榜しつつ(d) 保護関税を撤廃する。

これに対し、大陸のヨーロッパ諸国や米国においては、英国工業力の脅威に刺激されて産業革命が進むが、同時に、これらの産業革命後発国は、保護関税によって武装しながら、関税をめぐるいろんな動きを見せてくる。(e) ドイツは、長い領邦分割の時代から(f) 関税同盟の結成に向い、やがて統一国家の誕生が実現する。

…… (中略) ……

一七八九年七月一四日、フランスの専制主義と封建主義の象徴ともいふべき (ア) の牢獄は襲撃、破壊され、いわゆる(g) フランス革命によってフランスの旧体制時代 (*ancien régime*) に終止符がうたれる。

フランスの関税史もまた新しいエポックを迎えなければならなかった。

大革命以後にフランスがとった関税引上げ等一連の産業保護措置は、複雑な国際政治の動きを絡ませながら、(イ) 年にはナポレオンの大陸封鎖にまで発展する。

(h) 大陸封鎖は、所期の効果をあげ得ず、ナポレオンは、一八一五年に (ウ) の野に敗れて、(i) ヨーロッパの政治の舞台から消えるが、一方、(i) フランスの産業革命は七月革命以後急速に進み、(j) 対外貿易も着実な伸びを見せる。

関税政策的な観点から眺めれば、一九世紀のフランスは、閉鎖主義、保護主義の中に幕を開けるが、世紀半ばの(k) 第二帝政時代には自由貿易主義的な傾向が目立ってくる。

…… (中略) ……

一八世紀初、中期のフランスの貿易構造は、工業原料を輸入し (総輸入額の六〇～七〇%程度)、工業製品を輸出する (総輸出額の五〇～八〇%程度) というもので、イギリス型ともいふべき完全な工業国型であった。

(l) この工業国型貿易構造は、とりもなおさず英国との真向からの競合関係を余儀

なくさせ、それが、圧倒的な工業生産力をもつ英国を前にして、フランスに貿易自由化を躊躇させた最も大きい原因であった。

しかし、ナポレオン三世による一八六〇年一月二三日の (エ) によって、両国間の通商関係は大きく自由化へ前進する。……（中略）……このフランスの自由貿易主義への傾斜は、ひとつには、前述したようにフランスの産業革命の急速な伸展があったためと思われるが、他方、当時イタリア統一戦争によって欧州で孤立化を深めるフランスが、英国との通商協定を挺に、孤立化を免がれようとした政治的意図が働いていた点を見逃すことはできまい。

この (エ) は、また、フランスの関税にとって、国際化時代の到来を告げるものでもあった。

……（中略）……

普仏戦争（一八七〇-七一年）によって、ナポレオン三世は (オ)、第二帝政時代は終りを告げるが、それはまた、フランスの関税政策の転換につながった。

戦後に発足した第三共和政は、^(o)極度の財政難に陥り、五五六百万フランの増収が必要であったが、このうち約二億フランの財源を関税の増収に求めようとする計画がたてられた。

だから、第三共和政の関税政策は、第一に財政上の必要に基づく関税引上げの要請であり、また、それに便乗して勢いを得た保護主義路線の復活となって現われてくる。

朝倉弘教『世界関税史』（日本関税協会、1983年）による

設問 1 下線部(a)について、産業革命の出発点となった綿織物に関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(1)に記入しなさい。

1. イギリスの主要繊維産業は毛織物であったが、17世紀のはじめにオランダから羊毛の輸入が途絶し、代用品として綿の着用が推奨された。
2. メアリ1世が、17世紀の半ばに綿織物の輸入禁止を法制化し、イギリス東インド会社は輸入商品であった綿織物を国内生産に切りかえる特許状を得た。
3. 王政復古により復位したチャールズ1世は、清教徒の富の源泉であった毛織物産業に打撃を与えるために毛織物の着用を禁止し、綿服の使用を強制した。
4. 綿織物への需要が高まり、綿花栽培の耕作地を確保しようとする農業資本家の要望を受けて、ヘンリ7世は特許状を出して耕作地の囲い込みを合法化した。
5. 東インド会社が17世紀から輸入を始めたインド産の綿織物は、毛織物と較べて軽量で、洗濯もしやすく、また染色も容易であったために大いに人気を博した。

設問 2 下線部(a)について、イギリスでの産業革命のはじまりに関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bの(1)に記入しなさい。

1. 石炭業に蒸気機関が導入されて産出量が増大し、生産の機械化に道が拓かれた。
2. 毛織物工業で発明された飛び梭が綿工業に転用され、織布工程での技術革新が起きた。
3. 蒸気機関を動力源とする紡績機をアークライトが発明し、綿糸の生産拡大が可能になった。
4. 鉄道や蒸気船の発達によって原料や製品の大量輸送が可能となり、製造工程の革新が求められた。
5. 大規模工場が建設されるようになり、鉄の需要増大に応える製造工程の革新が、新しい機械の発明を導いた。

設問 3 下線部(b)について、イギリスが「世界の工場」として繁栄の絶頂期にあった19世紀半ばの国王の名前を解答欄Ⅲ－Cの(1)に記入しなさい。

設問 4 下線部(c)について、イギリスの「自由貿易主義」に関する記述として、誤っているものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(2)に記入しなさい。

1. イギリスが自由貿易を主張したのは、ほかのどの国より、安くかつ大量の工業製品を輸出できたからである。
2. イギリスが自由貿易を主張したのは、産業革命によって力をつけてきた産業資本家に有利な政策だったからである。
3. イギリスは自由貿易を展開しただけでなく、他国にも自由貿易を要求し、必要であれば武力に訴えてでも自由貿易を強要した。
4. 自由貿易の実施は工業製品輸出を増加させたが、原材料の輸入価格高騰を招き、「世界の工場」としてのイギリスの地位を喪失させた。
5. 自由貿易の推進によって、19世紀のラテンアメリカ諸国のように政治的には独立国でありながら経済的に従属する立場を強制される国が現れた。

設問 5 下線部(d)について、保護関税の撤廃をはじめとするイギリスの規制緩和に関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(3)に記入しなさい。

1. 航海法の廃止によって穀物の輸入統制が解かれ、人手不足であったイギリスでは労働者の賃金が高騰した。
2. コブデンやブライトらの主導のもとに結成された反穀物法同盟は、穀物輸入制限を定めた穀物法の撤廃を求めた。
3. 重商主義政策を体現する東インド会社の中国貿易独占権の廃止が実施されたのは、20世紀になってからであった。
4. 自由貿易の障害になっていた航海法の廃止により、中継貿易で莫大な利益を得ていたオランダとの競争に勝利する契機となった。
5. 1815年改訂の穀物法は、外国産の安価な穀物の流入による価格の低下をおそれた地主貴族であるユンカーが議会で働きかけて成立させた。

設問 6 下線部(e)について、この領邦の分立は領邦に実質的な「主権」が認められていたからであるが、こうした取り決めがなされた条約の名称を、解答欄Ⅲ－Cの(2)に記入しなさい。

設問 7 下線部(f)について、この経過に関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(4)に記入しなさい。

1. ドイツのフィヒテは古典派経済学とは異なり、発展段階がおくれた国民経済は関税などによる国家の保護が必要と説いて、ドイツ関税同盟の結成に努力した。
2. 関税同盟の結成で中心的な役割を担ったビスマルクは、フリードリヒ＝ヴィルヘルム1世から北ドイツ連邦首相に任命され富国強兵政策による統一を推進した。
3. 工業地帯のラインラントを有するプロイセンは、1834年にドイツ関税同盟を結成して製品市場の確保と経済的な統一をすすめるなどして、国家統一の基盤を整備した。
4. 関税同盟の結成後、オーストリアを除くドイツ諸邦の連合体としてライン同盟が設置され、プロイセン王ヴィルヘルム1世が同盟議長となって統一の推進力となった。
5. 関税同盟の結成によるドイツ統一の主導権争いはプロイセン＝オーストリア戦争（普墺戦争）を引き起こし、敗れたオーストリアは産業革命が進んでいたライン地方を割譲した。

設問 8 空欄(g)について、当てはまる名称を解答欄Ⅲ－Cの(3)に記入しなさい。

設問9 下線部(g)について、この経過に関する記述として、誤っているものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(5)に記入しなさい。

1. 三部会で議決の方法をめぐる対立が生じると、第三身分の議員たちは国民議会を形成して憲法制定まで解散しないことを誓って、新たな負担を回避する特権身分に対抗した。
2. 長引く対外戦争は国家財政を圧迫し、イギリスに対抗するためには産業振興が必要であったが、改革は諸特権や、ひいては身分制社会の構成原理の変更に関わるので反発は激しかった。
3. イギリスとの戦争をくりかえしたフランスの国家財政はいきづまり、国王ルイ16世は財務相デイドロの進言を受けて諮問機関である三部会を招集し、新税の導入をはかったが失敗に終わった。
4. 国民議会が憲法の起草を求めると貴族と国王はこれを弾圧しようとしたために、パンの値上がりや、財政改革を進めていたネッケルの解任に不満を抱いていたパリの民衆は、この牢獄の襲撃でもって応えた。
5. アメリカ独立戦争への参戦によって、破産状態におちいったフランスの国家財政を立て直すために、国王は新税の導入をはかったが、反発した第一身分と第二身分は全国三部会の開催を国王に求め、招集を約束させた。

設問10 空欄(i)について、当てはまる数字として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bの(2)に記入しなさい。

1. 1800
2. 1802
3. 1804
4. 1806
5. 1808

設問11 下線部(h)について、ナポレオンが「所期の効果」をあげられなかった理由として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(6)に記入しなさい。

1. 大陸諸国は既にイギリスによる分業体制に組み込まれており、大陸封鎖はイギリスよりも大陸諸国に打撃を与えたから。
2. イギリスはドレークらの私拿捕船を使って大陸との密貿易を行って、イギリスからの商品流入は途切れなかったから。
3. イギリス海軍にアクティウムの海戦で敗れたために北海での制海権を失い、イギリスからの商品流入を阻止できなかったから。
4. ニコライ1世が大陸封鎖令を無視してロシアからイギリスに穀物を輸出したが、ロシアに大軍を率いて遠征できなかったから。
5. ロシア・オーストリア・プロイセン連合軍がアウステルリッツの戦いでフランスを破り、東欧での大陸封鎖が実現しなかったから。

設問12 空欄(ウ)について、当てはまる地名を解答欄Ⅲ－Cの(4)に記入しなさい。

設問13 下線部(i)について、フランス革命とナポレオンの退場までに生じた混乱を收拾するためにウィーン会議が開かれるが、この会議に関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Aの(7)に記入しなさい。

1. 議事は難航し、「会議は踊る、されど進まず」と揶揄もされたが、オーストリア外相タレーランを中心に妥協がはかられ、ウィーン議定書が成立した。
2. ウィーン体制における列強体制の柱となったのは、フランス革命とナポレオン戦争の責任を回避するフランスと、神聖ローマ帝国の盟主を自認するザクセンであった。
3. ウィーン会議とこの会議で認められた国際秩序であるウィーン体制も、ブルジョワ階層を担い手とする自由主義的改革やナショナリズムの動きを押さえ込むことはできなかった。
4. フランス革命以前の政治秩序を正統とし、それを回復させようというフランス外相メッテルニヒの唱えた正統主義が原則として採用され、大国の勢力均衡による国際秩序の平和的維持が追求された。
5. ウィーン体制の強化をはかるため、ロシア皇帝アレクサンドル2世の提唱により結成された五国同盟は、ブルシェンシャフトやカルボナリあるいはデカブリスト等の自由を求める各国での動きを共同して弾圧した。

設問14 下線部(j)について、七月革命とそれに続く七月王政下のフランスの状況に関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(8)に記入しなさい。

1. シャルル9世の次に即位したルイ18世は、七月王政下で鉄道網の整備を促進する鉄道法などを制定し、産業革命の展開を交通や物流の面から支援した。
2. 革命前への復帰を支持する立場に傾斜したルイ16世を継いだ国王シャルル10世は、市町村に小学校の設置を義務づけ、質の高い労働者の育成に努め、七月王政下での産業革命の進展に寄与した。
3. イギリスへ亡命したルイ18世に代わって迎えられた自由主義者のオルレアン公ルイ＝フィリップは、フランス革命前への復帰と、自由主義の受容とのあいだで動揺したために、政策が混乱し、社会の不安定化が進んだ。
4. 天候不順による不作が農民所得減少をもたらして、工業製品市場を縮小させるという悪循環による不況に対応するため、七月王政下で立憲君主となったシャルル10世は、農民に多額の補償金を出したが、工場労働者が猛反発した。
5. オルレアン公ルイ＝フィリップ治下の七月王政では、自由主義政策により工業化が進展したが、銀行家など一部の富裕層からなる少数の上層ブルジョワジーが優位を占める政治が行われた。

設問15 下線部(k)について、七月革命から第二帝政が始まるまでの経過に関する記述として、誤っているものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(9)に記入しなさい。

1. 1852年、帝政復活の是非を問う人民投票が実施され、再び圧倒的な支持を得たルイ＝ナポレオン＝ボナパルトは皇帝ナポレオン3世となり、ここに第二帝政が始まった。
2. 1851年12月にルイ＝ナポレオン＝ボナパルトは、普通選挙制度復活を旗印としてクーデタに訴えて議会を解散し、大統領に権力を集中させる憲法案を起草して、人民投票で圧倒的な支持を得た。
3. 1848年4月、国民議会選挙では男子普通選挙が実施された。社会主義派が敗れ、ナポレオン時代の栄光を懐かしむ帝政派が大勝したために、これに怒ったパリの労働者は6月に武装蜂起したが、政府軍により鎮圧された。
4. 中小資本家や民衆のあいだには選挙権拡大を求める動きが広まった。しかし、政府がこれを力で抑圧したために1848年2月パリで革命がおきた。国王は亡命し、ルイ＝ブランなどの社会主義者も加わった臨時政府が樹立され、第二共和政が始まった。
5. 1848年6月の事件ののち三権（大統領・立法議会・司法）分立を定めた新憲法が制定され、1848年12月に大統領選挙が実施された。ナポレオンの甥として抜群の知名度を誇るルイ＝ナポレオン＝ボナパルトが、保守化した議会に対する民衆の反発を吸収して大勝した。

設問16 下線部(1)について、この「競合関係」は、英仏両国が植民地と商業の主導権をめぐって一世紀以上に及ぶ断続的な戦争状態にあった最中のことであるが、イギリスが最終的に勝利する理由として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(10)に記入しなさい。

1. イングランド銀行が創設されると、王室が発行した公債の引き受けが議会の承認を得ずとも可能となり、市中に売りに出された公債は、王室への信頼の高まりとあいまって高値で取引され、王室の財政を急速に回復させた。
2. 18世紀前半に最富裕国であったオーストリアでは、豊かな資金をもつ人々が信頼の高かったイギリスの国債を購入し、オーストリアの資金がイギリスに流れこむことで、イギリスの戦費調達能力がフランスを大幅に上回った。
3. ルイ14世の財務長官ラシーヌは、「国の財政状態は良好である」と報告して、オーストリア継承戦争遂行の負担増による財政赤字を、公債発行によって埋めようとしたが失敗し、以後王室の財政状況は好転することがなかった。
4. 議会の承認を得て政府が発行する国債をイングランド銀行が引き受けたことで、その信用はいつそう高まり、投資先として国内外からの多くの資金が集まることとなって、イギリスは対外戦争を遂行する能力を急速に高めていった。
5. ルイ15世は、ルイ14世による膨大な財政赤字解消のために、『経済表』を著したテュルゴーを財務総監に任じたが、対英戦争での勝利こそが自身の威光を増すと考えて、ヨーロッパ最大の陸軍を編成し、財政改革への道を閉ざした。

設問17 空欄(㊦)について、当てはまる名称を解答欄Ⅲ－Cの(5)に記入しなさい。

設問18 下線部(m)について、この戦争へのフランスの関わりに関する記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Aの(11)に記入しなさい。

1. イタリア統一戦争にさいして、フランスによる支援の代償にサルデーニャはニッツァ（フランス名ニース）とサヴォイア（フランス名サヴォワ）を割譲するというプロンビエールの密約を事前に結んで、オーストリアと開戦した。
2. ローマ教皇領ではガリバルディが政権を掌握してローマ共和国を樹立したが、これに対してフランスとオーストリアは共同して軍事介入をおこなって、ガリバルディをピエモンテで捕虜とし、指導者を失った共和国は瓦解した。
3. ロシア＝トルコ戦争でトルコを支援するフランス側に義勇兵として参戦したことでナポレオン3世と友好関係を築いていたガリバルディではあったが、イタリア統一戦争でのフランスとオーストリアの密約を知り、両国に反旗を翻した。
4. ナポレオン3世は、連戦連勝のサルデーニャの首相カヴールの権力が強大化すると、フランスへの脅威となることを懸念してオーストリアと単独で講和を結んだために、サルデーニャはトリエステと南チロルを併合するにとどまった。
5. マツイーニはナポレオン3世から軍事支援の約束を取りつけ、統一を拒む両シチリア王国に対して戦争をおこしたが、両シチリア王国を支援するためにシチリア島に進駐していたイギリス軍によって、フランス派遣軍とともに撃破された。

設問19 下線部(ロ)について、この戦争の契機となった事件として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bの(3)に記入しなさい。

1. 未回収のイタリア
2. サライェヴォ事件
3. スペイン王位継承問題
4. 社会主義者鎮圧法制定
5. ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世狙撃事件

設問20 空欄(オ)に当てはまる記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Bの(4)に記入しなさい。

1. エルバ島に幽閉され
2. 隣国オランダに亡命し
3. プロイセンの捕虜となり
4. ヴェルダン要塞で処刑され
5. 激戦となったソンムの戦いで戦死し

設問21 下線部(○)について、第三共和政についての記述として、正しいものを次の1～5より一つ選び、番号を解答欄Ⅲ－Aの(12)に記入しなさい。

1. バブーフを首班とする臨時政府がドイツへの賠償金をできるだけはやく完済するために国民に重税を課したために、窮乏した国民は大挙してケベックやルイジアナに移民し、巨額の財政赤字を抱えることになった。
2. フランス第二帝政が崩壊した翌年の2月に臨時政府は仮講和を結ぶが、ビスマルクはアルザス・ロレーヌの割譲や巨額の賠償金の支払いといった厳しい条件を課した。
3. 普仏戦争の正式な講和条約は1871年2月に締結されるが、巨額の賠償金とともにナポレオンがティルジット条約によってフランスに併合したエルベ川中流域の工業地帯も返還させられ、工業製品の輸出による外貨獲得が困難となった。
4. 第三共和国憲法制定後もビスマルクによる挑発が続いたので、第三共和国初代大統領ヴィクトル＝ユゴーはフランス革命を原点とする国民統合を進展させるべく7月14日を国民祝祭日とし、ドイツへの復讐心を煽って軍事予算を急増させた。
5. フランス第二帝政崩壊直後にブーランジェを首班とする臨時政府は講和条約を結ぶが、徹底抗戦を主張するパリ民衆が樹立したパリ＝コミューンを鎮圧する軍事費用を捻出することができず、イギリスに高利回りの国債を引き受けて貰った。

政治・経済

〔 I 〕 次の文章を読み、下の設問（設問 1～設問 7）に答えよ。（50点）

日本国憲法は、④人身の自由、精神の自由、経済の自由について定めている。人身の自由については、「何人も、いかなる奴隷的拘束も受けない。又、犯罪に因る処罰の場合を除いては、その意に反する（ア）に服させられない」(第18条)、「何人も、法律の定める手続によらなければ、その（イ）若しくは自由を奪はれ、またはその他の⑥刑罰を科せられない」(第31条)、「公務員による拷問及び（ウ）は、絶対にこれを禁ずる」(第36条)などの規定がある。精神の自由については、「③思想及び良心の自由は、これを侵してはならない」(第19条)、「④信教の自由は、何人に対してもこれを保障する」(第20条1項前段)、「⑤学問の自由は、これを保障する」(第23条)などの規定がある。経済の自由については、「何人も、（エ）に反しない限り、居住、移転及び（オ）の自由を有する」(第22条1項)などの規定がある。さらに、精神の自由には、①表現の自由が含まれている。

【設問 1】 文中の（ア）～（オ）に入る憲法上の語句を、解答欄 I - 甲のア～オに記入せよ。

【設問 2】 下線部④に関して、次の文章の（カ）と（キ）に入る最も適切な語句を、解答欄 I - 甲のカとキに記入せよ。

日本国憲法は、刑事被告人が法律的な援助を受けるための権利として（カ）権（第37条3項）を、また、捜査機関の取り調べや裁判において供述を拒むことのできる権利として（キ）権（第38条1項）を認めている。

【設問3】下線部㉑に関連する次の記述について、正しい記述ならば数字の1を、正しくない記述ならば数字の2を、解答欄I-乙に記入せよ。

世界には、死刑を法律上または事実上廃止した国が100カ国以上存在する。

【設問4】下線部㉒に関連して、次のaとbの記述について、正しいものには数字の1を、正しくないものには数字の2を、解答欄I-乙のaとbに記入せよ。

- a. 「思想及び良心の自由」は、自由な精神活動が個人の内面にとどまるかぎり、絶対的に保障される。
- b. 沈黙の自由は、公共の利益に反しない場合に限って認められるものである。

【設問5】下線部㉓に関連して、次の文章の（ A ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄I-乙のAに記入せよ。

地方公共団体による地鎮祭の費用や玉串料などの公金支出行為が政教分離原則に違反するかが問題になった裁判で、違反の有無を判断する際に裁判所が採用した基準が、（ A ）である。

[語群]

- 1. 目的・効果基準
- 2. 二重の基準
- 3. 明白性の基準
- 4. 合理性の基準

【設問6】下線部㉔に関連して、次の文章の（ B ）に入る最も適切な語句を、
下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄I-乙のBに記入せよ。

大日本帝国憲法の下では、たとえば、（ B ）や天皇機関説事件など、
学説の内容を理由とする弾圧がしばしばなされたことから、日本国憲法は特
に第23条で、学問研究の自由および研究成果の発表、教授の自由を保障して
いる。

[語群]

1. 滝川事件
2. 永山事件
3. 布川事件
4. 足利事件

【設問7】下線部①に関連して、次の文章の（ク）に入る最も適切な語句を、解答欄I-甲のクに記入せよ。また、（C）～（J）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄I-乙のC～Jに記入せよ。ただし、D、EおよびGは憲法上の語句である。

人が自由に自分の思想を形成し、発表する自由を、表現の自由という。これは、公開の場での討論などによる（C）にもつながることから、民主主義体制に不可欠の権利とされる。そこで日本国憲法は、第21条1項において、「集会、（D）及び言論、（E）その他一切の表現の自由は、これを保障する」と定めている。表現の自由の制限は、（F）にされるべきである。このため日本国憲法は、第21条2項において、「検閲は、これをしてはならない。（G）の秘密は、これを侵してはならない」として検閲を禁止し、表現の自由を制限する方法について特に定めを置いている。これに関連して、高等学校の日本史教科書に対して文部科学省が行った教科書検定が検閲の禁止に違反するかどうか長い間争われた訴訟がある。この訴訟を、原告となった学者の名前をとって（ク）教科書訴訟という。

集会や集団示威運動については、（H）を理由に（I）によって規制されることがある。しかし、（I）に従って（J）に届け出て許可を得るといった規制の方法が表現の自由に反しないかについて裁判で争われたこともある。

[語群]

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 全面講和 | 2. 世論形成 | 3. 事前協議 | 4. 出版 |
| 5. 活動 | 6. 勤労 | 7. 非公開 | 8. 絶対的 |
| 9. 必要最小限 | 10. 結社 | 11. 結成 | 12. 発信 |
| 13. 取材 | 14. 調査 | 15. 通信 | 16. 無罪の推定 |
| 17. 個人の尊重 | 18. 公共の安全 | 19. 公安条例 | 20. 公契約条例 |
| 21. 公害防止条例 | 22. 公平委員会 | 23. 公安委員会 | |
| 24. 公害等調整委員会 | | | |

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問11）に答えよ。

(50点)

アダム＝スミスはその著書『(A)』で、ピンの製造を例に分業の利益を説いた。現代社会の豊かさは、この分業によって生み出されているといっても過言ではない。分業が禁じられたらどうなるだろうか。④ 自給自足、つまり一人の人間が衣食住の全てを完結させることができるだろうか。

また、分業したとしても、人々は互いに生産物を交換しなければ意味がない。分業には必然的に交換が伴うのである。しかし、この交換はそう簡単な問題ではない。交換を経て、生産物は誰の手に渡るべきだろうか。また、誰が何の生産を担当すべきだろうか。⑤ ご飯よりパンを好む人にはパンが多く配分され、逆にご飯好きには米が多く配分される方が良いだろう。また、米作りが得意な人が米農家に、パン作りが得意な人はパン職人になってもらう方が望ましいだろう。私たちの社会で、このような問題はどのような方法で解決されているのだろうか。一般的に市場原理は、単に需要と供給を一致させるための原理であると理解されているかもしれない。しかし実は、交換を通じて、さまざまな資源配分の問題を解決する原理であると理解できるのである。

分業といってもさまざまなレベルがある。1つの会社内で、営業職に就いている者もいれば、総務を担当している者もいる。都道府県レベルでも、農産物の生産が盛んな地域もあれば、自動車の生産が盛んな地域もあり、地域の特性に応じた分業が行われている。世界レベルの分業にもとづいた、国境をこえた財やサービスの経済的取引が貿易である。19世紀にすでに基礎が築かれていた⑥ 比較生産費説からもわかるように、④ 自由貿易は、参加する国に利益をもたらす。しかしそれぞれの国で、比較劣位にある産業で働く人々は失業してしまうことになり、⑦ 転職するにしても大きな犠牲を払わなくてはならない。そのため、国全体ではメリットがあるとしても、自由貿易推進の合意形成には困難を伴う。

⑧ 外国との取引は、異なる通貨間で行われるが、その際の交換比率は為替レートといわれる。為替相場の安定は、自由貿易を成功させる必要条件である。円ドルレートは、長期にわたって1ドル360円に固定されていたが、1971年に協定で1ドル (A) 円に切り上げられた。その契機となったのが、ニクソン＝ショツ

クである。大統領ニクソンは、突然（イ）とドルの交換停止を宣言し、外国為替市場は混乱に陥った。

日本では1970年代後半に、（ウ）体制とよばれる、現在の変動為替相場制^㉔に移行した。為替レートは、長期的には経済の（エ）によって決まる水準に収斂すると考えられるが、短期的には為替投機や通貨当局による介入などによっても変動する。

【設問1】文中の（A）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ-乙のAに記入せよ。

【語群】

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 経済学および課税の原理 | 2. 諸国民の富 |
| 3. 不平等の経済学 | 4. 雇用・利子および貨幣の一般理論 |
| 5. 経済発展の理論 | 6. 経済表 |

【設問2】文中の（ア）～（エ）に入る最も適切な語句や数字を、解答欄Ⅱ-甲のア～エに記入せよ。

【設問3】下線部㉔に関連して、日本、アメリカ、フランスの3カ国における、2013年の穀物自給率（重量ベース）の高い国から並べた順番として、最も適切なものを、次の1～5から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ-乙に記入せよ。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. (i)アメリカ | (ii)フランス | (iii)日本 |
| 2. (i)アメリカ | (ii)日本 | (iii)フランス |
| 3. (i)フランス | (ii)アメリカ | (iii)日本 |
| 4. (i)日本 | (ii)アメリカ | (iii)フランス |
| 5. (i)フランス | (ii)日本 | (iii)アメリカ |

【設問4】下線部㉔に関連して、次の文章の（オ）に入る最も適切な語句を、
解答欄Ⅱ－甲のオに記入せよ。

どのような人間にも好みがあり、それに応じた選択をする。しかし、いつでも合理的な選択を行うとは限らない。そのため、心理学と従来の経済学を融合した（オ）経済学が近年注目されており、2017年にはリチャード＝セイラーがこの分野への貢献でノーベル経済学賞を受賞している。

【設問5】下線部㉕に関連して、次の文章の（カ）に入る最も適切な数値を、
解答欄Ⅱ－甲のカに記入せよ。

A国では、1単位の農産物を生産するために10人、1単位のスマートフォンを製造するために15人必要である。B国では、1単位の農産物を生産するために20人必要である。A国が農産物の生産に比較優位を持つ場合を考える。このとき、B国で1単位のスマートフォンを製造するために必要な人数は（カ）人よりも少なくなければならない。

【設問6】下線部㉖に関連して、次の文章の（キ）と（ク）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅱ－甲のキとクに記入せよ。

『経済学の国民的体系』を著した、ドイツの経済学者（キ）は、自由貿易に異を唱えた。また、イギリス出身の経済学者ミルらは、（ク）産業保護論を説いて、保護貿易を正当化した。

【設問 7】 下線部㉔に関連して、次の文章の（ B ）～（ E ）に入る最も適切な語句を、下の語群から 1 つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙の B～E に記入せよ。

1947年に調印された G A T T は、加盟国間での関税や非関税障壁の廃止により、自由貿易をめざした協定である。1964年に始まる（ B ）では、工業製品の関税を一括で平均35%引き下げる合意がなされ、1973年に始まる（ C ）では、農産物の関税引き下げや非関税障壁の軽減で大きな成果があった。1995年には（ D ）での合意にもとづいて、自由貿易を促進するための機関として（ E ）が発足した。

[語群]

- | | | |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 日米経済調和対話 | 2. ケネディラウンド | 3. 日米包括経済協議 |
| 4. 東京ラウンド | 5. I B R D | 6. ドーハラウンド |
| 7. I M F | 8. ウルグアイラウンド | |
| 9. スミソニアン協定 | 10. W T O | 11. O E C D |
| 12. T P P | | |

【設問 8】 下線部㉕に関連して、日本において1947年に制定された、職業紹介事業を規定する法律として、最も適切なものを、次の 1～6 から 1 つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 職業訓練法
2. 雇用対策法
3. 労働契約法
4. 職業安定法
5. 労働関係調整法
6. 職業能力開発促進法

【設問9】下線部㉑に関連して、国際収支について述べた次の文章の（ F ）～（ I ）に入る最も適切な語句や数字を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ-乙のF～Iに記入せよ。

国際機関の分担金は、（ F ）に含まれ、海外投資による投資収益は（ G ）に含まれる。対価の伴わない固定資産の提供は（ H ）に、オプション取引や先物取引などは（ I ）に計上されている。

[語群]

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1. 第一次所得収支 | 2. 第二次所得収支 | 3. 貿易収支 |
| 4. サービス収支 | 5. 資本移転等収支 | 6. 外貨準備 |
| 7. 誤差脱漏 | 8. 証券投資 | 9. 直接投資 |
| 10. 金融派生商品 | | |

【設問10】下線部㉒に関連して、次の文章の（ J ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、解答欄Ⅱ-乙のJに記入せよ。

2011年に、円・ドル為替レートは1ドル（ J ）円台に突入し、2018年までの円・ドル為替レートの最高値を記録した。

[語群]

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 50 | 2. 60 | 3. 70 | 4. 80 | 5. 90 |
|-------|-------|-------|-------|-------|

【設問11】 下線部㉔に関連する記述として、適切でないものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅱ－乙に記入せよ。

1. 日本の輸出の増加は、円高の要因となる。
2. 外国の金利上昇は、円安の要因となる。
3. 海外から日本への投資の増加は、円高の要因となる。
4. 日本のデフレの進行は、円安の要因となる。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下の設問（設問1～設問8）に答えよ。（50点）

高度経済成長期以降、日本では地域の社会・経済のあり方が、農村中心から都市中心へと大きく転換した。1961年、農工間の経済格差を是正し、農家の自立経営を促すために（A）法が制定されたが、農村からの人口流出は止まらなかった。農業戸数は激減し、農業従事者の割合は全就業者数の3%にまで落ち込んだ。^㉑その結果、1999年に（A）法に代わって施行された新法では、農業生産者に対する従来の保護主義的政策は転換され、新たに農業の二つの役割が強調された。第一の役割とは、「食料の安定的供給」であり、これは食料自給率の低下^㉒を踏まえている。第二の役割とは、災害対策のための水田の保水、良好な景観の形成などの農業の「（ア）の発揮」であり、これは、耕作放棄地の増加などの問題が背景にある。

一方、産業構造の高度化やグローバル化が進展するなかで、社会・経済の東京一極集中の傾向が強まった。1990年代以降、国際競争激化のなかで、生産拠点の海外移転が積極的に進められた結果、国内の中小企業の多くが経営難に直面し、^㉓こうした中小企業に支えられた地域経済は大きな打撃を受けた。また、アメリカからの貿易不均衡是正の要求が強まるなか、^㉔1989年から1990年にかけて（イ）協議が行われ、これを受けて大型商業施設の出店が大幅に規制緩和された。さらには、その流れを受けて2000年に（B）法が施行され、地方圏の小売業者はより厳しい競争にさらされた。後継者不足もあって、淘汰された店舗も多く、中心市街地の空洞化が進んだ。

東京一極集中が進むと、中央集権が強まり、地方自治の理念が十分に機能しなくなる点が問題となる。総務省の発表では、2019年度、東京都ほか少数の自治体のみが地方税等の（ウ）財源が豊かであるために、（エ）税交付金の交付対象になっておらず、その他大半の自治体は地方債、（エ）税交付金のほか、国が用途を特定して支出する補助金等の総称である（オ）金が歳入の大部分を占め、財政が自立的ではない。また、地方自治体は、国からの指揮・監督のもとで行われる事務の負担が重い。^㉕この状況を改めるべく行われたのが、1990年代以降の地方分権改革である。

2010年代には、東京一極集中を是正し、人口を地方圏に分散するべく、（ C ）法が新たに制定されるなど、「地方創生」を総称とする法律の整備がなされ、関連する政策が推進されている。しかし、その成果はまだ明らかなものになっていない。

【設問1】文中の（ア）～（オ）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅲ－甲のア～オに記入せよ。

【設問2】文中の（A）～（C）に入る最も適切な法律名を、次の1～12のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ－乙のA～Cに記入せよ。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. PFI | 2. まち・ひと・しごと創生 |
| 3. 大規模小売店舗立地 | 4. 大規模小売店舗 |
| 5. 中心市街地活性化 | 6. 地方分権一括 |
| 7. 構造改革特区 | 8. 都市計画 |
| 9. 食料・農業・農村基本 | 10. 農業経営基盤強化促進 |
| 11. 食糧管理 | 12. 農業基本 |

【設問3】下線部①に関連して、次の文章の（ D ）と（ E ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ-乙のDとEに記入せよ。

農家のなかで、経営耕地面積30 a 以上または農産物販売金額50万円以上の農家を（ D ）といい、2015年では総農家の約6割を占める。しかし、農業所得が50%以上で、自営農業に1年間に60日以上従事する65歳未満の者がいる農家、すなわち（ E ）は、（ D ）のうち約5分の1程度にすぎない。

〔語群〕

- | | | |
|----------|-------------|----------|
| 1. 自給的農家 | 2. 兼業農家 | 3. 副業的農家 |
| 4. 専業農家 | 5. 販売農家 | 6. 農業専従者 |
| 7. 主業農家 | 8. 基幹的農業従事者 | |

【設問4】下線部⑥に関連して、次の文章の（カ）～（ク）に入る最も適切な語句を、解答欄Ⅲ－甲のカ～クに記入せよ。

日本の食料自給率が低下した背景には、貿易自由化による輸入増加と、食生活の変化のなかで、コメの消費が減少し、小麦やとうもろこし等の他の穀物の消費が増加したという事情がある。

食料の輸入増加にともない、食料の安全性リスクについての議論が盛んになった。品種改良によって人工的に作り出された（カ）組み換え作物やそれを用いた食品が市場に出回ることが多くなったことが安全性の見地から懸念され、2001年からは一部の作物・食品について、表示が義務付けられるようになった。

食料の安定供給のために自給率を高めるべきだという考えのもとで、国内農業の強化をはかる動きが活発になっている。たとえば、単に農産物を生産するだけではなく、加工や流通・販売も同時に手掛ける業態にし、経営を強化していくやり方、すなわち（キ）化の試みなどが進められている。

また、食料の輸入が増えると輸送にかかる化石燃料が大量消費されるという観点から、環境対策のために自給率を高め、「地産地消」を進めるべきだという主張も盛んになっている。たとえば、市場に出回る食料の量に輸送距離をかけた数値である（ク）という概念に注目し、排出したCO₂の量を可視化する試みが挙げられる。

【設問5】下線部⑦に関連して、その説明にあてはまる中小企業の類型として最も適切なものを、次の1～4のうちから1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ－乙に記入せよ。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 下請け型 | 2. 地場産業型 |
| 3. ニッチ型 | 4. 新興市場型 |

【設問6】 下線部④に関連して、次の文章の（ F ）～（ H ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ-乙のF～Hに記入せよ。

1970年代以降、アメリカは対日貿易赤字の是正要求を強めた。日本は、1986年の中曽根内閣のもとで（ F ）をまとめるなど、内需拡大・市場開放・金融自由化へと方向を転換した。1991年には、（ G ）・オレンジの輸入枠が撤廃された。加えて、アメリカは、1988年に施行された（ H ）を根拠として、日本に対する規制緩和要求を強め、大型商業施設の出店規制撤廃を要求した。

〔語群〕

1. アメリカ包括貿易法のスーパー301条
2. グラス・ステイーガル法
3. 牛肉
4. ドッド・フランク法
5. 小麦
6. 鉄鋼
7. 貿易為替自由化計画大綱
8. 前川レポート
9. TRIM協定
10. 年次改革要望書
11. 増田レポート
12. とうもろこし

【設問7】 下線部⑤に関連し、次のaとbの記述について、正しいものには数字の1を、正しくないものには数字の2を、解答欄Ⅲ-乙のaとbに記入せよ。

- a. 19世紀のフランスの歴史家トックビル（トクヴィル）は、アメリカの民主主義の先進性を指摘するなかで、その地方自治のあり方の重要性に注目した。
- b. 地方公共団体は団体自治および住民自治の原則に基づいて運営されるべきという考え方は、日本国憲法第92条に記されている「地方自治の根本理念」に基づいている。

【設問 8】 下線部㊦に関連して、次の文章の（ I ）と（ J ）に入る最も適切な語句を、下の語群から1つ選び、その番号を、解答欄Ⅲ－乙の I と J に記入せよ。

（ I ）とは、国または都道府県の包括的な指揮・監督下において地方公共団体が代わって行う事務のことであった。それが過重であることによって地方自治が損なわれているという批判が起こり、2000年以降、地方分権改革によって（ I ）は廃止された。これとともに、従来、（ I ）に含まれた都市計画の権限などが地方自治体に移された。また、国や都道府県の関与を受ける地方公共団体の事務については、あらたに（ J ）と定義され、原則として地方議会の承認が求められるようになった。

[語群]

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 固有事務 | 2. 団体委任事務 | 3. 機関委任事務 |
| 4. 行政事務 | 5. 自治事務 | 6. 法定受託事務 |
| 7. 公共事務 | 8. 直接執行事務 | |

数 学

〔 I 〕 次の に適する数または式を、解答用紙の同じ記号の付いた の中に記入せよ。

(1) $a_1 = 0, a_2 = 6, a_{n+2} - 8a_{n+1} + 7a_n = 0$ ($n = 1, 2, 3, \dots$) によって定められる数列 $\{a_n\}$ がある。 $a_5 =$ ア であり、 a_n の一般項は イ であり、 a_n は 0 以上の整数である。 a_{145} は ウ 桁の整数であり、最高位の数は エ , 一の位の数は オ である。なお、 $\log_{10} 2 = 0.3010, \log_{10} 3 = 0.4771, \log_{10} 7 = 0.8451$ である。

(2) t を正の実数とし、関数 $f(x) = x^2 - x - (1+t)|x|$ について考える。曲線 $C: y = f(x)$ 上の点 $P(p, f(p))$ ($p < 0$) における接線 L が点 $Q(q, f(q))$ ($q > 0$) においても曲線 C に接している。 p, q を t を用いて表すと $p =$ カ , $q =$ キ である。また、接線 L の方程式を x, y, t を用いて表すと ク である。このとき、線分 PQ の長さ l は t を用いて表すと ケ であり、線分 PQ と曲線 C で囲まれた部分の面積を S とすると、 $\frac{S}{t^3} =$ コ である。

〔 II 〕 原点を O とする座標平面において、原点 O を中心とする半径 1 の円を C とし、円 C 上に 4 点 $A_1(1, 0), A_2(0, 1), A_3(-1, 0), A_4(0, -1)$ をとる。この 4 点を頂点とする正方形を S_1 とする。次に、点 A_j ($j = 1, 2, 3, 4$) を原点 O を中心として θ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) だけ正の向きに回転して得られる円 C 上の点を B_j ($j = 1, 2, 3, 4$) とし、この 4 点を頂点とする正方形を S_2 とおく。2 つの正方形 S_1 と S_2 との共通部分の面積を $f(\theta)$ とする。線分 A_1A_2 と線分 B_1B_2 との交点を P とし、線分 A_2A_3 と線分 B_1B_2 との交点を Q とする。次の問いに答えよ。

- (1) 線分 PQ の長さ l を θ を用いて表せ。
- (2) $\triangle OPQ$ の面積を θ を用いて表せ。
- (3) $f(\theta)$ を θ を用いて表せ。
- (4) $f(\theta)$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) の最小値を求めよ。

[III] k を 0 以上の整数とする。 $x + y + z = k$ を満たす 0 以上の整数の組 (x, y, z) 全体のつくる集合を D_k , また, D_k に含まれる整数の組の個数を d_k とする。 D_0 は $(0, 0, 0)$ のみからなり, $d_0 = 1$ であり, D_1 は $(1, 0, 0), (0, 1, 0), (0, 0, 1)$ からなり, $d_1 = 3$ である。 次の問いに答えよ。

- (1) d_k を k を用いて表せ。
- (2) $x + y + z \leq k$ を満たす 0 以上の整数の組 (x, y, z) の個数を k を用いて表せ。
- (3) D_k の中で, $4x + 2y + z = 2020$ を満たす 0 以上の整数の組 (x, y, z) の個数を e_k とする。 e_k の最大値とそのときの k の値をすべて求めよ。